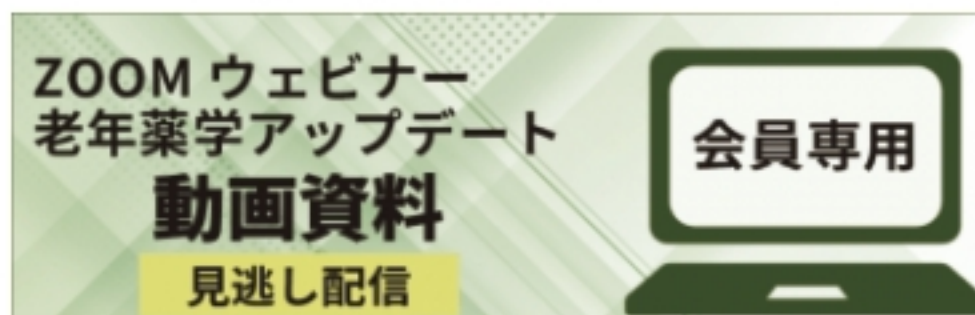


老年薬学アップデート

老年薬学に関する最新知識を学べる、会員限定のZOOMウェビナー「老年薬学アップデート」を無料で受講できます。動画資料（見逃し配信）を「会員専用」サイトからもご覧いただけます。また、LIVE配信受講者には老年薬学会0.5単位が付与されます。



日本老年薬学会雑誌

日本老年薬学会雑誌 (Journal of Geriatric Pharmacy)は、高齢者の薬物治療適正化に関する研究成果を発表する場として2018年3月に創刊後、現在四半期に1回のペースで発行されています。オンラインで提供され、日本老年薬学会のホームページより閲覧可能です。

既に高齢者の嚥下機能の実態調査、在宅高齢者の服薬支援、介護支援専門員との連携等が報告されており、今後、高齢者に対する処方適正化、ADL低下を防ぐ予防医療への介入、ポリファーマシー対策に関する報告が待たれるところです。世界の高齢化が進展する中、日本が高齢者医療を牽引しなければなりません。その一端を担えるような学会誌にしていくために皆様からの投稿をお待ちしています。



※投稿は会員および非会員を問わず可能です。

日本老年学会加盟団体の特典

本学会は2023年6月16日より日本老年学会に加盟しました。2年に一度総会が開催され、本学会の学術大会参加者は、合同の7つの他学会学術大会の各会場を自由に行き来可能となります。高齢者医療の最新情報を得るチャンスが増えるとともに、他学会との新たな交流が生まれることが期待されます。



入会案内

一般会員：医師、薬剤師
学生会員：学生及び大学院生 (社会人大学院生も含む)
支援会員：看護師、管理栄養士、栄養士、
医薬品情報担当者 (MR) 等
賛助会員：本会の事業を援助するために、所定の賛助会費を納入する団体及び個人

年会費

種別	金額 (年間)
一般会員	5,000円
学生会員	1,000円
支援会員	2,000円
賛助会員	1口 100,000円 (最大5口まで)

会期：3月1日～2月末日

入会方法

詳細およびお申込みはホームページから
URL <https://www.jsgp.or.jp>

日本老年薬学会

検索



学会事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル
株式会社コンベンションリンケージ内
TEL: 03-3263-8697 FAX: 03-3263-8693
E-mail: info@jsgp.or.jp



一般社団法人日本老年薬学会
Japanese Society of Geriatric Pharmacy : JS GP

©2023 日本老年薬学会 2023年10月現在



一般社団法人日本老年薬学会
Japanese Society of Geriatric Pharmacy : JS GP



高齢者医療の支援・発展に寄与すること、
老年薬学認定薬剤師育成を目的としています。

ご挨拶

日本老年薬学会について

超高齢社会を迎えた我が国の高齢者医療では、多病と老年症候群、日常生活障害を抱え、しばしば救急搬送される後期高齢者が主な対象となっており、臓器横断的で生活環境にも配慮した包括的な医療が求められています。

そのような社会状況で、ポリファーマシーをはじめとする薬学上の喫緊の課題に対応するべく誕生したのが老年薬学という新たな学術分野であり、2016年1月に設立された日本老年薬学会です。本学会の目的は「高齢者の薬物治療に関する実践と研究の振興及び知識の普及、会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより、老年薬学の進歩を図り、もって我が国における高齢者医療の発展に寄与し、社会に貢献すること」であり、今後益々の発展が期待されます。

本学会は、高齢者の薬物療法を適正に実践できる薬剤師の養成を目的とした「老年薬学認定薬剤師制度」を設け、認定薬剤師ならびにその養成のための指導薬剤師を認定しています。本学会の会員数も現在1,700名強と年々増加しています。皆さんも是非、日本老年薬学会の会員、さらには認定薬剤師となって、ともに将来の高齢者医療を支える役目を是非担ってください。

日本老年薬学会代表理事
秋下雅弘

事業内容

- 学術集会、講演会、セミナー、研修会等の開催
- 老年薬学に関する機関誌、その他刊行物の発行事業
- 老年薬学に関する学際的研究、教育、普及啓発事業
- 老年薬学に関する認定薬剤師、指導薬剤師、専門薬剤師、教育施設の認定
- 老年薬学に関する調査・研究の実施、研究の奨励、研究業績の表彰
- 内外の関連学術団体との連絡及び協力
- その他、目的を達成するために必要な事業

認定薬剤師制度

「老年薬学認定薬剤師」とは？

老年薬学認定薬剤師制度は、高齢者の薬物療法を支援する上で必要な総合的な知識と技量を有する優れた薬剤師を養成し、高齢者がより有効かつ安全な薬物療法の恩恵を受けられるために貢献し、国民の保健・医療・福祉に寄与することを目的としています。

老年薬学認定薬剤師制度のカリキュラム

カリキュラムは、老年薬学認定薬剤師が備えるべき資質を養成するために必要な知識や経験をリストアップしています。

- [1] 加齢に伴う生理・身体機能の変化
- [2] 高齢者に多くみられる症候、障害
- [3] 高齢者に多くみられる疾病
- [4] 高齢者医療に関わる指針・ガイドライン
- [5] 薬物動態の変化と薬物治療
- [6] 高齢者の薬物治療に関わるガイドライン
- [7] 高齢者の処方見直しへのアプローチ
- [8] 高齢者の身体能力に合わせた服薬支援
- [9] 多職種との連携
- [10] 高齢者施設や在宅の環境整備
- [11] 高齢者に配慮した行動【実技】

老年薬学認定薬剤師制度について

- 当該認定制度は5年毎の更新制です。
- 申請要件が整う目処がついた後に、認定試験の受験の申込みを行ってください。
- 申請期間は認定試験の可否の通知後2ヶ月間となります。
- 申請要件の詳細は、学会Webサイトにてご確認ください。

認定取得者の声



市ヶ尾病院 薬剤科
大坪 博子 先生

都内から横浜市青葉区に転居して25年。新興住宅地であった地元は高齢化が進み入院患者の需要が増加しています。都立病院を定年退職後、地元で地域医療に携わりたいという思いが強くなった頃、老年薬学会のことを知りました。私自身が高齢者の仲間入りし、高齢者医療を学びたいという思いで認定薬剤師を取得し、大学院博士課程にも進学しました。臨床と研究を両立しながら、当事者目線で高齢者の薬物治療を支えていきたいと考えています。



田辺薬局株式会社
佐野 敦彦 先生

在宅医療にかかわる中で、高齢者医療は疾患の標準治療だけでなく、身体機能の低下や残された生活の質の考慮など総合的な薬学的知見、判断が求められることを実感していました。そこで患者さんへの貢献を目的に、老年薬学会の認定資格を取得しました。取得には薬物治療への貢献を示す症例報告の提出が必要であり、患者の問題点を抽出し要点をまとめるトレーニングにもなり、現在はトレーニングレポートの作成に役立っています。また認定資格は介護関係者からも関心を持たれ、信頼を得る一つの要因にもなっています。

認定申請について

認定試験の受験申し込み

受験料：5,000円(税別)

認定試験を受験

認定試験に合格

認定の申請

本学会の一般会員であること(3年以上)等
各種申請資料の提出

症例報告10例の提出

30単位取得に関する証明書類の提出

実技実習3項目の受講に関する
証明書類の提出

審査料：10,000円(税別)

審査に合格した者に認定を通知

登録料：10,000円(税別)

認定証を交付